

Quadrotech Archive Shuttle

ZeroIMPACTのEメールアーカイブ移行のための、スケーラブルかつセキュアな自動化ソリューションです

エンタープライズのEメールアーカイブの移行は、特別に大規模で複雑なプロセスになる可能性があります。これを成功させるためには、Eメールの依存関係を維持し、帯域幅の制約を緩和して、移行全体を通じてシームレスなユーザアクセスを実現する必要があります。

Quadrotech Archive Shuttle by Questは実証済みのアーカイブ移行ツールで、コンプライアンスに準拠しながら、EメールアーカイブのデータとジャーナルをOffice 365やExchangeなどのアーカイブシステム間で迅速に移行することができます。Eメールアーカイブ移行のスペシャリストがサポートすることで、以下の内容が可能になります。

- アーカイブへいつでもアクセスでき、エンドユーザへの影響を排除
- 詳細な監査追跡による分析過程管理によりリスクを軽減
- インテリジェントなフィルタリングにより、必要なものだけを移行することで移行の時間とコストを削減

Eメールアーカイブ移行機能

Eメールアーカイブ移行プロジェクトはどれも同じとは限らないことを理解した上で、Quadrotech Archive Shuttleは、関係者各位にご満足いただけるよう、設定はカスタマイズ可能となっており、エンタープライズの環境に存在するさまざまな状況をサポートします。

高速かつスケーラブルな移行

Archive ShuttleのAdvanced Ingestion Protocol (AIP) は、Office 365やExchangeへの移行時の取り込み時間を短縮し、従来のEWSやMAPIによる手法と比較して大幅な速度向上を実現します。このソリューションでは、巨大なボリュームのデータの転送と管理を、スケーラブルなマルチスレッド手法で行い、同時に取り込みのエラー発生率を低く抑えます。

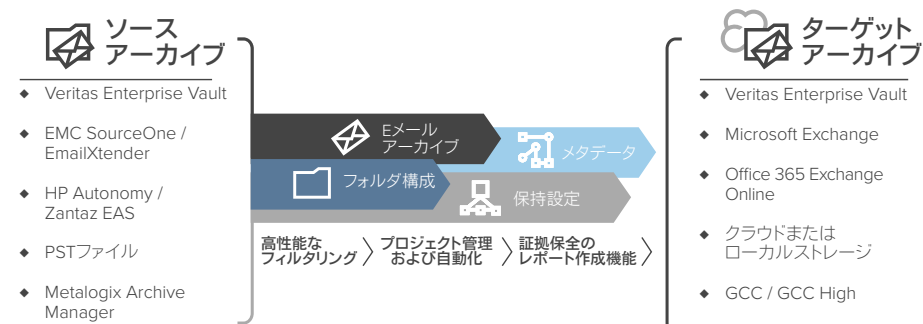
「Archive Shuttleは、インストールと設定が簡単にできます。移行プロセスがユーザに見えることはありません。」

Warwick Botwright氏
ITマネージャ兼プロジェクトリード
Fresca Group

メリット:

- Eメールの内容が環境から出ないようにすることで安全を確保
- EWSまたはMAPIメソッドより高速でOffice 365やExchangeに移行
- ユーザの混乱を最小限に抑えながら、Eメールをレガシーシステムから移行
- プロジェクトのタイムラインを急速に進行させ、最初の商品の市場公開までの時間 (TTFI) を最大限に高速化

ZeroIMPACTのEメールアーカイブ移行



Eメールアーカイブを、Exchange Web Servicesを利用した他のソリューションに比べて最大5倍の速さでご希望の環境に移行します

「Quadrotechのサポートで、15 TBのデータをEnterprise VaultからExchange Onlineへシームレスに移行することができました。」

Hemant Sohoni氏
Intelマネージャ
トヨタファイナンシャルサービス

システム要件

プロセッサ (コア数)

4以上 (8を推奨)

メモリ

4 GB以上 (8 GBを推奨)

ハードディスク容量

2 GBの空き容量

オペレーティングシステム

Windows Server 2012、2012 R2、2016および2019

追加ソフトウェア

Internet Information Services (IIS) 7.5以降

Net Framework 4.6以降

SQL Server 2012、2014、2016および2017

サポート対象のソース

Veritas Enterprise Vault

EMC SourceOne / EmailXtender

HP Autonomy / Zantaz EAS

PSTファイル

Metalogix Archive Manager

サポート対象

Veritas Enterprise Vault

Microsoft Exchange

Office 365 Exchange Online

クラウドまたはローカルストレージ

GCC/GCC High

証拠保全を保持する

極めて堅牢なセキュリティでEメールアーカイブを移行することにより、法令と規則に違反するリスクを軽減します。移行された各アイテムについて、固有のデジタル指紋を自動的に作成し、保存することができます。完全な監査証拠を収集することができます。移行されたデータの破損や不正な変更がないことを検証可能です。また、従来のEWS方式と比べて、フォルダ構成とメタデータを極めて高い精度で保存し、証拠保全を容易に検証することができます。

ユーザにとってZeroIMPACT

Archive Shuttleにより、ユーザはデータへのアクセスを中断されることがなくなります。Archive Shuttleの機能であるSync'n'Switchでは、ユーザのアーカイブ移行作業をメッセージ同期から切り離すことで、レガシーアーカイブから新しいプラットフォームへのEメールの移行中にユーザ関連の不具合が発生することを防ぎます。オペレータがコントロールする、段階を踏んだワークフローにより、アーカイブのコンテンツをバックグラウンドで同期します。同期完了後、またはオペレータの判断によるタイミングで、ユーザを新しいシステムに切り換えます。

退職者の自動処理

Archive Shuttleを使用すると、企業はアーカイブ内の元従業員のデータを検知し、別個の移行ワークフローを設定することができるため、手動による調整作業が不要になります。

ジャーナルの変革

Archive Shuttleでは、2つのジャーナル移行オプションを提供しています。いずれもコンプライアンスに準拠し、Eメールコンテンツの100%保存を確実にします。Journal Transformationオプションでは、ジャーナルアーカイブからエクスポートされたEメールをすべて取り込み、ユーザのメールボックスの非表示部分でEメールのそれぞれのアドレスに配置します。また、Virtual Journalオプションには、Office 365の複数のメールボックスにジャーナルアーカイブを分割する機能が含まれています。

高度な自動化機能

Archive Shuttleは、多数の複雑で時間のかかるタスクや繰り返しのタスクを自動化するほか、複数の属性によりEメールの絞り込みを行うパワフルな機能も備えています。このソリューションでは、カットオーバーのプロセス、ユーザの通信、およびアーカイブのデータの抽出と取り込みを自動化する拡張ワークフローを使用することで、移行全体におけるバックアップやデータの整合性チェックでのリスクを回避します。

QUESTについて

Questはますます複雑になるIT環境において、新たなテクノロジーのメリットを現実にするソフトウェアソリューションを作成しています。データベースとシステムの管理からActive DirectoryとOffice 365の管理、そしてサイバー・セキュリティ・レジリエンスまで、Questは次のIT課題を今すぐ解決できるよう、お客様をサポートします。Quest Softwareは「次」に備えます。